

調査研修報告書（議員用）

報告者： 横路政之

実施場所：浜田市役所	実施日：2019年8月6日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・自治振興区制度がスタートして12年が経過している。その間人口減少などさまざまな要因で振興区制度も課題が出てきている。浜田市は合併時より、自治区制度を導入されて今日まで来ている。自治区という特異な制度を学ばせていただき、庄原市の課題解決の糸口を探った。	
■参考とすべき事項 ・旧市町に自治区長という副市長なみの権限を持った人を置き、地域協議会をもって自分たちの町づくりを精力的に取り組んでいる。 ・周辺の町民の声が届く構造になっており、取り残されるといった不安解消ができています。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・自治区制度は合併時の様々な不安（周辺が取り残されるのではないかなど）の解消には効果があると思うが、一体的な町づくりという視点から見ると疑問に思う。しかし、庄原市において、合併して12年が経過するなか、まだまだ周辺の不満があるのは事実である。浜田市の方式を取り入れることは無理だとおもうが、不満解消へのヒントがあるように思う。	